

# 令和2年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和3年6月30日

部課名 福祉部介護福祉課

施設名	弘前市生きがいセンター
施設の設置目的	高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図ることを目的とする。
所在地	弘前市大字南袋町1番地20
指定管理者名	公益社団法人 弘前市シルバー人材センター
指定期間	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて管理業務を良好に実施していた。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>自主事業はなし。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>生きがい教室において、新型コロナウイルス感染防止を徹底し、市の指示に従い実施した。施設管理では、利用者の安全に配慮し、南大町ふれあい広場の草刈・薬剤散布を行った。新型コロナウイルス感染対策防止のためマスクの着用をお願いしているが、夏場の高温・多湿の状況下でのマスクの着用は熱中症のリスクが懸念されることから、エアコンを有効活用している。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>意見箱の設置のほか、令和2年度利用者アンケートを、令和2年12月1日(火)～令和3年1月4日(月)の期間で実施。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和2年度は、団体数 679(5,264人)、個人利用 0人、利用者数計 5,264人となっており、前年度を下回る数値となっている。 (参考:平成元年度 団体数 1,208(11,142人) 個人利用 0人 利用者数計 11,142人)</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>指定管理料内での運営に努めており、収支状況は適正である。</p>

## 7 実地調査の結果

基本業務のほか、南大町ふれあい広場管理業務も適正に実施されていた。また、教養向上のため、生きがい教室、サークル活動を市の指示に従い実施するなど、施設の設置目的に沿った運営がされていた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒等の対策も徹底されていた。また、新型コロナウイルス感染対策防止のためマスクの着用をお願いしているが、夏場の高温・多湿の状況下でのマスクの着用は熱中症のリスクが懸念されることから、エアコンを有効活用している。

## 8 成果指標の達成度

実績 5,264人 ÷ 目標人数 11,372人 × 100 = 達成度 46.3%

実績 77% ÷ 目標満足度 77% × 100 = 達成度 100%

※新型コロナウイルスの影響で休館が多かったこと、外出を控えたことにより利用者数が昨年度より減少した。

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	概ね適正に実施されている	各種法令の遵守を徹底し、さらに利用者サービスに努め、利用者の促進を図る。
施設の管理	B	概ね適正に実施されている	さらに施設の維持管理及び利用者の安全対策に取り組む。
経理の状況	B	概ね適正に実施されている	さらに適正な処理に努める。
団体の財務状況	B	概ね良好	さらに経費節減と受注拡大に努める。

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	関係法令等を遵守し、協定書・基準書・事業計画等に基づき概ね適正に実施されている。	利用者増加のため、今後も積極的な施設のPRや事業内容の充実を図ること。
施設の管理	B	安全対策等に関するマニュアルを定めて対応しているほか、個人情報、文書等の管理も適正に行われている。また、施設に不具合などが確認された場合は速やかに簡易修繕により対応している。	引き続き適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施されている。	引き続き適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	令和2年度決算を確認した結果、安定した施設管理が可能な経理的基盤を有していると判断される。	引き続き安定した財務状況の維持に努めていただく。

**【評価の視点】**

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

**【評価の基準】**

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準□

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する